

厳しい寒さが続いておりますが、保護者の皆様はいかがお過ごしでしょうか。早いもので、1学年の3学期が始まりました。生徒たちは気分も新たに、授業や部活動、行事などに取り組んでいます。

さて、昨年末に「ベネッセ総合学力テスト11月」の答案を生徒たちに返却しました。その結果の概要をお知らせするとともに、進路指導部や国数英3教科からの分析及び講評をまとめました。生徒たちの今後の学習の指針となれば幸いです。

◎進路指導部より…45期生は、課題や小テスト等にしっかりと取り組む生徒が多いと感じています。授業や小テスト等で扱った内容が模試で問われることもあります。最近学習した分野であれば全国平均をはるかに超える得点率の設問もあり、学習に対して前向きな姿勢がうかがえます。一方で11月模試からは、弱みも見えてきています。家庭学習時間の不足から、復習が追いついておらず、前学期に学習した内容などは、低調な得点率となる設問がどの科目にも見受けられます。まだ1年生ですから、復習する分野はそれほど多くありません。3月末までに1年生の内容の総復習を完了し、2年生が順調にスタートできるように、担任とともに指導してまいります。

◎国語科より…正答率について全国平均と校内平均を比較すると、文章の読解力は全国平均とほぼ同じで、問題によっては全国平均を上回るものもあり、本校の生徒たちは健闘しています。ただし、漢文や古文の基礎知識（語句の読みや文法）においては、残念ながら、全国平均をやや下回っています。そこで、冬期休業中に古典文法学習ノートの助動詞の部分を宿題とし、3学期初日に課題テストを実施しました。今後も、授業はもちろんのこと、小テストや課題テストなどによって基礎知識の定着を図りたいと思います。

◎数学科より…今回の11月の模試では、7月の模試と比較すると、基本問題が集まった小問集合の正答率の改善が見られ、多くの問題で校内平均が全国平均を上回っていました。ただし、小問集合の中のやや長い文章から考える問題においては、全国平均を下回っています。そこで、3学期課題テストでは、宝くじを題材としたやや長い文章から考える問題を出題しました。また、2学期からは、基礎問題を中心とした小テストを定期的に行っており、3学期も継続して実施をしていき、基礎知識の定着と学習習慣の定着を図りたいと思います。

◎英語科より…文法問題（4択、並べ替え等）については、学校で既習の事項については正答できるのですが、未習の項目では正答へのハードルはやはり高いようです。既習事項であっても、少しひねりがあったり、使われている単語が難しかったりすると正解にたどり着かない場合もあるので、語彙を増やしながら模試で出題の関連事項を復習していくことが大切です。長文問題では、まだ初見の英文を短時間で読む経験が少ないのでなかなか得点できませんが、授業での英語にしっかり取り組んで基礎力をつけながら、場数を踏む必要があります。定期考査でも応用力を試す長文問題も出題していく予定です。大変正答率の低かった、データを見て自分の考えを英語で書く問題は、「基本問題」に分類されているものの、現段階ではかなりの難問です。2年～3年にかけて、和文英訳の練習を重ねて表現力を身につけていくことで対応していきます。